



発行所  
 社団法人  
 神奈川県造園業協会  
 横浜市中区常盤町2-10  
 伸光ビル2階〒231-0014  
 電話 (045) 662-8793  
 662-1767  
 FAX (045) 662-4381  
 年間購読料 3,150円  
 (郵送料を含む)  
 ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

# 神奈川の森林再生の取組について

## かながわ森林再生50年構想

神奈川県は、面積約9万5千ヘクタールで県土全体の約4割を占めており、私たちが生きていく上で欠くことのできない水を育む水源であり、また、様々な動植物が暮らし豊かな自然環境であり、登山やキャンプなど保健休養の場であるなど、県民にとってかけがえない財産とも言えるものです。しかし、近年、手入れ不足や大気汚染、



水源林整備後の森林 (5年経過後)

シカの採食圧等の理由により、荒廃が懸念されてきました。

県では、森林荒廃を食い止めるため、平成9年度に開始した水源の森林づくり事業を始め、水源環境保全・再生施策や丹沢大山保全対策など様々な対策を講じてきましたが、こうした森林に関する施策・事業等を分かりやすく取りまとめ、県内の森林全体について再生の方向とめざす姿を示したのが「かながわ森林再生50年構想」です。

## 森林区分(ゾーン)ごとのめざす姿と主な取組

森林再生50年構想では、県内の森林を、標高と、林業の採算性の観点から4つに区分し、それぞれのめざす姿を設定しました。

標高800m以上の森林は、「ブナ林など自然林を再生するゾーン」とし、「ブナやモミなど高標高域を象徴する多様な樹種と階層を持った自然林」を目指します。ここでは丹沢大山自然再生計画に基づきブナ林の再生に関する取組が行われています。

標高300mから800mまでの中標高域の林道から遠いところは「多様な生

区分	森林ゾーン	めざす姿
奥山	ブナ林など自然林を再生するゾーン	ブナやモミなど高標高域を象徴する多様な樹種と階層を持った自然林
山地	道から遠いところ	多様な生き物が共存するゾーン
	道から近いところ	多様な生き物が生息する針葉樹が混生する広葉樹林 資源循環を取り戻した持続可能な人工林
里山	身近なみどりを継承し再生するゾーン	クヌギ、コナラ、クリなどの森の恵み豊かな落葉広葉樹林 四季を通じてうっそうと茂る照葉樹林 日が差し込み、風の通る竹林

き物が共存するゾーン」とし、「多様な生き物が生育する針葉樹が混生する広葉樹林」を目指します。ここでは水源の森林づくり事業等により、人工林の混交林化や広葉樹林の整備などが行われています。

標高300m以下の森林は里山とも呼ばれるところですが、これは「身近な緑を継承し再生するゾーン」とし、「クヌギ、コナラ、クリなどの森の恵み豊かな落葉広葉樹林・四季を通じて葉葉樹林・四季を通じて

うっそうと茂る照葉樹林・日が差し込み風の通る竹林」をめざす姿としました。ここでは、「里山里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」に基づく支援事業により、地域住民主体の里山里山の保全活動が行われています。

さらに、標高800m以下の林道から近い人工林(概ね200m以内)は「木材資源を循環利用するゾーン」として区分し、資源循環を取り戻した持続可能な人工林」を目指して、木材の有効活用を通じて森林整備を促進することとし、間



間伐材の搬出

**神奈川でも林業再生の取組をスタートします**

国では、戦後大規模に造成された人工林が保育期から利用期に入ってきたこと、外材の輸入動向が不透明感を増してきたこと等を背景に、平成21年12月に森林・林業政策の抜本的改革を目指す「森林・林業再生プラン」を発表し、昨年、その実現に向けた検討が進められ、新年度から、10年後の木材自給率50%を目指して、新たな制度・施策・事業が始められる予定となつていきます。

県では、前述のとおり、これまで県産木材の有



内装に県産木材を使用した幼稚園

効活用に取り組んできましたが、本県のスギ・ヒノキの人工林も既に6割以上が利用期に入っていることから、木材利用をより一層推進し、循環利用ゾーンにおける持続可能な人工林の実現を目指して、これまでの取組に加え、木材生産の生産性向上のための施業集約化促進等の対策、県産木材の品質認証制度の創設、県産木材を使用した住宅への助成事業など施策の充実強化を図ることとしました。

このように、本県でも新年度は本格的に林業再生の取組を開始し、林業再生元年としたいと考えておりますので、皆様のご支援・協力をお願いいたします。

(神奈川県環境農政局 水・緑部森林再生課)

## 総会のお知らせ

平成23年5月20日(金)

17時30分

11時00分

神奈川県造園業

協同組合総会

13時00分

(社)日本造園建設業協会

神奈川県支部総会

15時00分

(社)神奈川県造園業協会

総会

「かながわのみどりを創り、育てる」集い

会場・ホテル横浜ガーデン (横浜スタジアム前) 横浜市中区山下町二五四

☎〇四五―六四二―一三二一 関内駅(JR、地下鉄) 徒歩五分

# 平成二十三年度二級造園技能検定課題が大きく変わります。

今年度改定が予定されている 2 級実技課題の大きな変更点は、①標準時間が 2 時間 30 分、②区画サイズは 2000×2500mm となったことで、従来は 1 級課題と同じであった作業時間と区画サイズが、新 2 級課題ではそれぞれ短縮・縮小された。

また、これまでの 2 級課題にあった二脚鳥居支柱の取付け作業が無くなっていることも大きな変化のひとつ。

本紙面に平面図を掲載しているので、併せて参照してほしい。

これまで 2 級技能検定課題は、平成 8 年度に改定されて以来十四年間にわたり同一課題が続いており、昨年度、技能検定試験の基準と細目も改定され、今の時代にあった試験内容を求める機運が高まっていた。また近年の合格者に女性の占める割合が年々増えて、21 年度は初めて女性の合格率が 10% を突破するなど受験者層も変化しつつある。今回の新課題で、時間短縮、区画サイズを縮小することにより、夏場の熱中症への対応等がしやすくなり、女性技能者の受験者増も期待される。

正式な課題公表は例年同様 6 月頃の予定であるので申し添える。

## 仕様

### (1) 四つ目垣

- イ 丸太柱は、埋込み部分の防腐処理をしなくてよいが、天端は、切りそろえること。
- ロ 胴縁は、元末を交互に使うが、末節止めとし、丸太柱にくぎ止めすること。
- ハ 立子は、末節止めとすること。

- ニ 立子と胴縁との結束は、次によること。

- (イ) 1 段目と 3 段目は、シユロ縄を 2 本使用で裏綾掛けいぼ結びとし、しりをいぼの上端から 20mm で切りそろえること。

- (ロ) 2 段目は、シユロ縄を 2 本使用で、左よりからみ結び(かいずる) とすること。

### (2) 縁石、飛石及び敷石

- イ 縁石及び飛石の敷設で寸法を指定していない箇所は、平面図のような感じになるようにすること。
- ロ 敷石 B、縁石(自然石)、縁石(石材又はコンクリート製)の仕上がり高は同一とすること。

- ハ 縁石及び敷石は、平らに土ぎめ敷設すること。

- ニ 掘り出した土(発生土)は、点線の範囲内の築山及び平整地に使用すること。

### (3) 築山

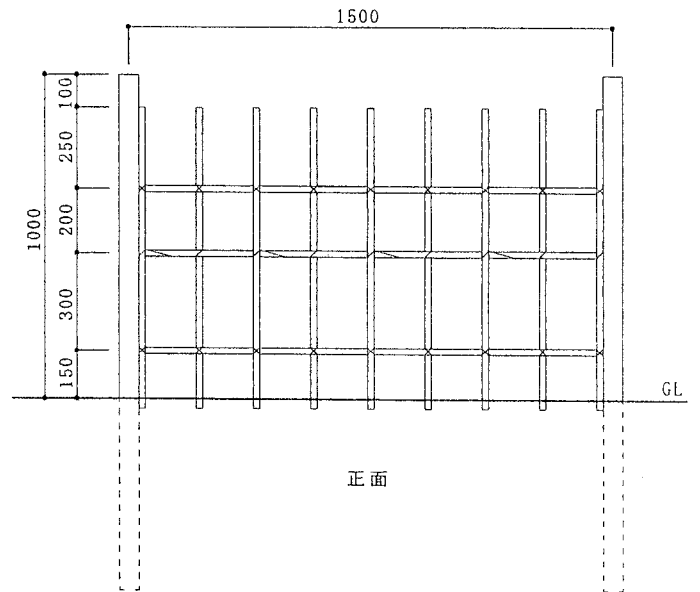
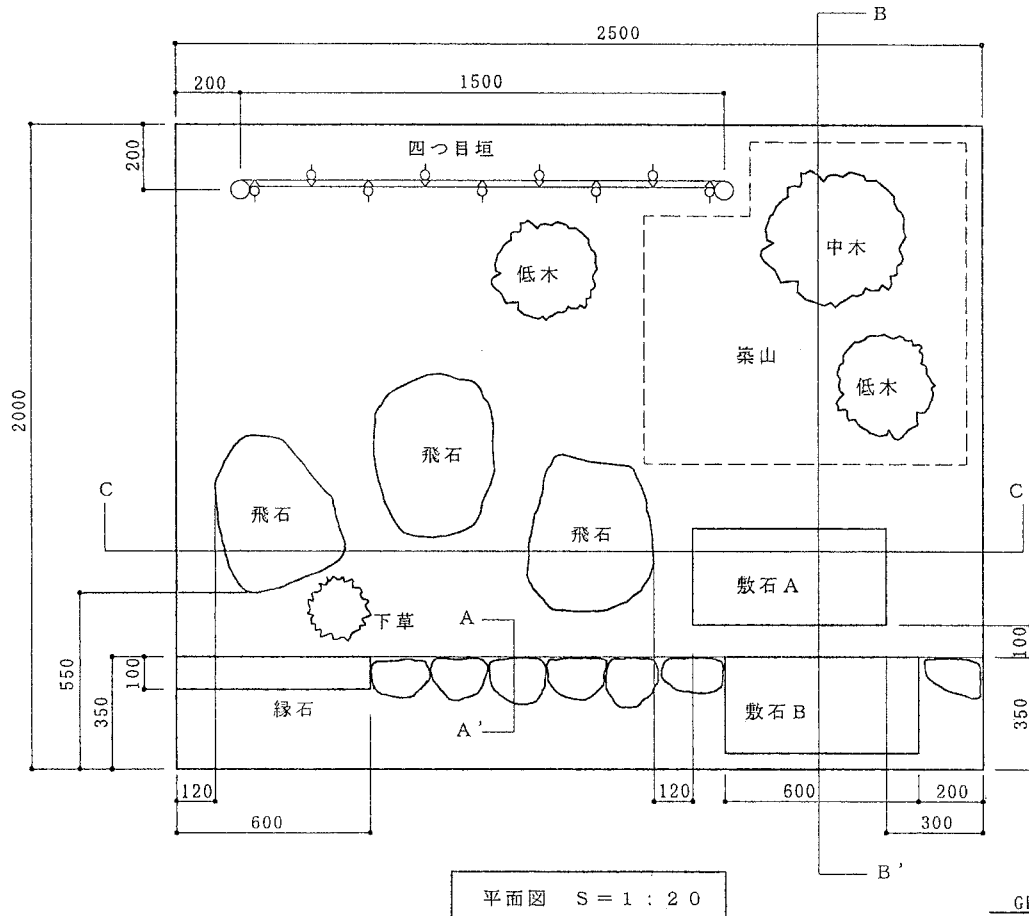
- イ 発生土を使用して、点線の範囲内に見映え良く設けること。

### (4) 植栽

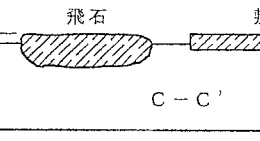
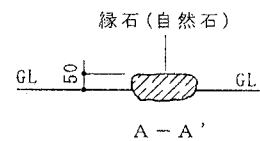
- イ 枝ぶりを生かし、平面図のような感じになるように植栽すること。
- ロ 刈込みはしないこと。

- ハ 植栽に当たっては、本来ならば水鉢を設けるところであるが、本試験においては、水鉢を設けないこと。

## 2 級造園施工図 (単位 : mm)



四つ目垣詳細図 S = 1 : 20



ちり部断面図 S = 1 : 20

参考 … 級別 作業時間と区画サイズ

級別	標準時間	区画サイズ
1 級	3 時	2000 × 3000 mm
新 2 級	2.5 時間	2000 × 2500 mm
3 級	2 時間	1500 × 2000 mm

# 平成二十三年度神奈川造園人 賀詞交換会開催される。

神奈川県内の造園・公園・緑地整備にかかわる業界人や行政関係者が集い「神奈川造園人賀詞交換会」が一月十一日、横浜市内のホテルで約140人が出席して開かれた。

冒頭、世話人を代表して岸本和好神奈川県造園業協会会長が、「二十一世紀は環境の世紀。温室効果ガスの吸収に大きな役割を果たしている緑の創出や保全に向けた施策の一層の推進を行政に期待する。」

われわれは、緑を担う専門業者として蓄積した技術を生かし、豊かな都市環境の整備に積極的に参画したい」とあいさつ。

また、古尾谷神奈川副知事から県の財政は大変厳しい状況ではあるが、景気対策として県単独事業も含めてしっかりと予算措置をしていきたいと挨拶があり、神



古尾谷副知事挨拶

奈川県議会の田島信二議長が、「造園技術は、あすの神奈川づくり」に重要な役割を果たしている。環境問

題の改善に向けてさらなる飛躍を期待する」と述べられた。



田島議長挨拶

そして、歓談に移り今年一年の期待と近況が語られ和やかに懇親が深まりました。

今年出席されなかった会員の方々来年は会場でお会いしましょう。



三好神奈川県議会みどり議員連盟会長挨拶



# 「石川龍二氏の叙勲を 祝う会開催される。」

平成二十二年秋の叙勲に際しまして神造協石川龍二副会長が多年に亘り協会業務に精励され、業界及び協会の発展に多大な貢献をされた功績により旭日双光章受章の栄誉に浴されました。

平素より石川副会長と懇縁の深い方々が一堂に会して氏の栄誉に敬意を表し、さらなる御活躍を祈念し「叙勲を祝う会」が平成二十三年二月二十日小田急ホテルセンチュリー相模大野に於いて開催されました。

祝賀会がHAKUOH上島文子司会のもと、小山神造協副会長の開会のことば、岸本会長による発起人代表挨拶が行われた後に、石川副会長のプロフィールが紹介され、引続き公務多忙の中出席して頂いた古尾谷神奈川副知事、加山相模原市長、小林厚木市長、田島神奈川県議会議長、三好神奈川県議会みどり議員連盟会長、藤巻(株)日本造園建設業協会会長、河本相模原商工会議所会頭より心温かい来賓祝辞を賜り、石川副会長より受章者謝辞が行われました。また、お孫さんからご夫妻に花束贈呈がなされ、神造協高橋副会長の閉会の辞により式典が終了しました。



お孫さんから花束贈呈

石川ご夫妻

# 情報委員会よりご報告とお願い 情報委員長 木下 透

日頃は情報委員会へのご理解ご協力を賜りありがとうございます。

さて、先般より懸案となっており第35回総会において平成二十一年度事業計画として決議されて以来、情報委員会を取り組んでおりました「会報のペーパーレス化」並びに「協会情報発信のIT化」について経過をご報告いたします。

「会報のペーパーレス化」については2011年7月を目途に、紙面にてお配りしている会報を造園業協会のホームページからダウンロードして閲覧する方式に変え、印刷代や紙代、郵送料などを削減しようという目標でありました。

会報を作成し会員の皆様にお届けするには原稿の収集校正のあと版下の作成、印刷、折り代、封入の手間に加えて切手代が掛かります。この費用は年間約160万円(年3回発行)を会費から支出しています。会員自らが協会のホームページからダウンロードして会報を閲覧する方式に変えればそれらの支出を大幅に抑えることが出来ることを考えたわけですが、IT化をしていない会員にとってパソコンを導入し、インターネット環境を整え、さらにプリンターで会報を印刷しようとすれば、相当の

お金と時間を要します。現時点での会員のIT化普及率は未だ半数程度と推測され、今後の見通しも明るくありません。仮に、IT化の進んでいる事業所が支部内の非IT化会員のために会報をプリントアウト(印刷)して配るような仕組みを作ったとすると、その事業所の負担は計り知れず、一般のプリンターで会報を現行の印刷代(8ページ1刷あたり約二七〇円)で印刷するのはまず不可能です。印刷を代行する事業所に協会からこの手数料を支払うとすると、切手代などが浮いたとしても現行の出費をはるかに超えてしまうという矛盾が生じることがわかりました。

お金と時間を要します。現時点での会員のIT化普及率は未だ半数程度と推測され、今後の見通しも明るくありません。仮に、IT化の進んでいる事業所が支部内の非IT化会員のために会報をプリントアウト(印刷)して配るような仕組みを作ったとすると、その事業所の負担は計り知れず、一般のプリンターで会報を現行の印刷代(8ページ1刷あたり約二七〇円)で印刷するのはまず不可能です。印刷を代行する事業所に協会からこの手数料を支払うとすると、切手代などが浮いたとしても現行の出費をはるかに超えてしまうという矛盾が生じることがわかりました。

経費を削減することは出来ませんでした。会報の品質を今までより向上させることが出来たことは大きな成果であると評価しております。

「会員自らが協会のホームページからダウンロードして会報を閲覧する」という仕組みは2004年にはすでに出来上がっており、会員のみならず一般の方でも会報を閲覧したり印刷したりすることが可能になっています。

このシステムは協会のホームページの立ち上げから維持管理を委託している(株)横浜電算のサービスの一部ですが、会員への周知が徹底しておらず、特に各事業所で働く従業員レベルにはほとんど知られていないのが実情です。

「協会情報発信のIT化」の第一歩は、広くこのシステムを知ってもらい、協会のホームページにアクセスしてもらうことによつて実現するものと考えています。各支部におかれましては、すでに進められているIT化にご理解いただき、各事業主だけでなく従業員やその家族にも協会のホームページや会報への関心を持ってもらえるようご尽力を賜りたいと存じます。協会のホームページ内にある会員名簿にはE-mailや自社サイト(URL)がリンクされており、一般の方からの仕事を直接受注することが可能になります。

まだ会員名簿に反映されていない事業所には速やかに登録をして頂くと共に、IT化されていない事業所にはインターネットからの受注への取り組みを是非ご提案ください。

情報委員会としましても情報委員だけでなく個々の会員からの情報提供による会員参加型の会報作りを目指し、会員の意欲が反映されるIT環境を整え、促進することを次なる目標として努力して参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 神奈川県「台北を愛する会」研修会に参加して

(株)日産クリエイティブサービス  
大谷 正樹

「神奈川県議会議員松田良昭先生と行く台湾3泊4日の研修」は神奈川県造園業協会、また、先生の後援会の方々総勢十六名で十一月十一日(木)より十四日(日)まで神奈川県と友好提携を結んでいる台湾を訪れるというものでした。

折りしも十一月六日から平成二十三年四月二十五日までの6ヶ月間にわたり開催されている「2010台北国際花卉博覧会」の視察、そして高雄市議会公式訪問、台湾高座会台日交流協会訪問等 盛り沢山の予定を計画したこの研修に参加したのでその報告と感想を記させていただきます。

冒頭、この研修会に一緒に参加し帰国間もない十一月二十八日急逝した、公園緑地部会会長 難波良雄氏、一眼レフを肩から掛け、羽田空港で購入したお似合いのサンングラスをかけ、精力的に見聞を広めていた姿が昨日の事のように思い出されます。

氏のご冥福を心よりお祈りいたします。国際空港として開業間もない羽田より一路台北、松山空港へ。

中華民国外交部、黄秘書長の歓迎を受け、同氏を囲んでの夕食会、空港から直接のあわただしさの中台湾料理に舌鼓。

二日目、朝早く目が覚めホテルの周辺を散歩。朝市、市場での雑踏、公園での太极拳、人との触れ合い、台湾の活力、原動力を感じた貴重な朝を体験しました。

そして、花博会場へ。長蛇の列に注目度、人気度の高さに圧倒される始末。そんな中、現地の暖かいご配慮を頂き、争艶館「全球花之饗宴」(インドアフラワーカーネスト)を見学しました。館内狭しと胡蝶蘭をはじめ多くのランや色艶やかな華が見事に咲き誇っている中、日本からは、(財)海洋博覧会記念公園管理財団の「沖縄之寫意生活」をはじめ五者が出展されておりました。

屋外の庭園では、浜松市が遠州灘と白砂浜および松をあしらい、一方では浜名湖をかたちどった美しい石庭を醸し出した庭が「遠州の庭」白砂青松」として出展し、また、安藤龍二氏他との共同で出展された「龍之庭」鯉躍龍門」の庭が美術公園区国際庭園エリアで並んで展示され多くの見学者の目を惹いていました。



中華民国外交部黄明朗秘書長との歓迎懇親

屋外では、浜松市が遠州灘と白砂浜および松をあしらい、一方では浜名湖をかたちどった美しい石庭を醸し出した庭が「遠州の庭」白砂青松」として出展し、また、安藤龍二氏他との共同で出展された「龍之庭」鯉躍龍門」の庭が美術公園区国際庭園エリアで並んで展示され多くの見学者の目を惹いていました。

高座市議会議長を代表して、市議会公共関係室主任の崔さん、鄭さんより高座市についての説明や議場の案内をして頂く中、崔さんのご丁寧な歓迎挨拶や松田先生、そして「台北を愛する会」会長の鈴木一松氏の挨拶と終始和やかに時間が過ぎ、夕食会へと懇親は続いていきました。

3日目、台南市烏山頭ダムへ、嘉南大圳の父として八田與一氏は今日になって多くの台湾の農民から深く敬愛され、没後六〇年以上も経過した今日になって命日には毎年追悼式が行われているとの事です。台湾でその功績をしつかりと受止めて頂いているにも拘らず、当の日本国内において、八田氏の功績をどのくらいの国民が知っているのでしょうか？

そしてもうひとつ、あまり知られていない？、忘れてしまわれた？日本と台湾との人間ドキュメントが。彰化県で開かれた高座会台日交流協会の総会、そして私たちが出席したその前夜祭。

日本からは甘利衆議院議員や遠藤座間市長も出席されたこの会は第二次世界大戦戦時中 本土の労働力不足解消の為、祖国防衛の戦

力増強の為に台湾の優秀な15歳前後の少年8400余名が難関の試験を見事合格し、海を渡ってこの神奈川県高座の地にB29迎撃用戦闘機「雷電」の製造に携わり、戦後帰還された後も第二の故郷として高座を慈しみ集まられている会なのです。

そういった方々が、戦後六十五年たった今でも集まり旧交を温め、日本を想い、また、前進しようとされている会がここにあるのだという事、そしてその方々のご家族も参加され、楽しまれている事、台湾の源を覗き見た感じがしました。

4日目 最終日 台湾発展の象徴とも言えるべき高層ビルに。

台北101からの展望は流石圧巻、八十八階から見下ろす台北の街は本場にすごい。人の勢い、躍動、活気など動きをまざまざと見せ付けられました。

今の日本に欠けているもの。台湾には在るのかも。日本のあるべき姿、見直す必要があるのでは……

そんな事を感じる貴重な体験をした「松田先生と行く台湾三泊四日の研修」でした。

末筆ながら、この研修会をコーディネートしてくれた西田さん、本当にありがとうございました。

そして鈴木会長、奥様、お心使いありがとうございました。



安藤龍二氏「龍之庭」



高層ビル台北101



烏山頭水庫



八田與一氏の像と墓



見事な胡蝶蘭

蒋介石記念館像にて



高雄市議會表敬訪問

近衛兵の交代式



高雄市議会との交流

高座会との懇談

# 作庭塾庭守 活動報告

荒川 昭男

## 両使いの蹲踞

平成 22 年 9 月 26 日、都筑 J A にて蹲踞講習を行いました。

既に講習した向鉢、中鉢の続きとして今回は、手水鉢を挟んで 2 石の前石を据える両使いの蹲踞を組みました。

両使いの蹲踞を組む理由は、まず第一に敷地内に複数の茶室があり、尚且敷地の広さの制約で、茶室ごとに蹲踞を組むことが難しい場合。

茶室の数にこだわらず、初めから延段や飛石を含めた両使いの景色を意図したとき、或いは、予算的制約がある場合。

いがある等が考えられます。一斑の蹲踞は、手水鉢に前回の中鉢で用いた、江戸時代の上野寛永寺に据えられていた小松の伽藍石を据え、海回りはあえて役石は据えず、守山石で丸く護岸を取りました。

## 日本は中国大陸の縁だった

今から 1 億 2 千万年前現在の中国大陸の縁が京都や琵琶湖周辺まで伸びていました。日本海はそのときまだ存在していませんでした。

その縁にあたる海岸の浅瀬に、陸から流されてきた泥や粘土、そして砂等が堆積し圧力を受けて堆積岩となったのが守山石です。

8 千万年前、現在の比良山やその南の比叡山あたり、地球内部からマグマが上昇し地殻に貫入しました。そのマグマの熱を受けた堆積岩の一部が鴨の真黒石です。真黒石は熱変成を受けた接触変成岩で、岩石名をホルンフェルスといいます。

受けた熱の温度が 500 度から 600 度ぐらいだと、真黒石の中にボヤけた青白い斑点が見られます。この斑点を董青石(きんせいせき)と呼びます。董は「ねば土」とか「粘土」という意味です。京都の庭師さんは、この董青石が見られる石を米真黒と呼んでいました。董を米に見立てたのでしよう。

京都大徳寺北隣の今宮神社で、丁寧に磨かれた米真黒を拝見することが出来ます。

その上昇してきたマグマが早く冷え固まったのが、石英閃緑岩の京都鞍馬石で、ゆつくり冷え固まったのが、花崗岩の白川御影や小松御影といわれています。

## 石灯籠の「見立て物」

二班の蹲踞は、灯籠の基礎に水穴を穿った見立て物を手水鉢とし、海回りは小振りの木曾石で縁取りしました。

手水鉢には、力強い複弁の反花が彫りこまれ存在感があります。

引白を散らした木曾敷石から蹲踞へは、本鞍馬の飛石を打ちました。

鉢明かりは、六角の生込み灯籠を据えましたが、程良い高さに納まりました。

灯籠は、笠や中台の縁が薄く仕上げられ、特に笠の照りの上品さは、火袋に彫られた仏と相俟って、石幢の雰囲気強く漂わせています。因みに石幢は中国の唐より伝えられたものですが、平安時代後期より起こった地藏信仰と結びつき、室町時代に至るまで、日本各地で造られたといわれています。

年号が明らかな石幢で最も古いものは、室町初期の応永 8 年(1401 年)丹後の長徳寺の八角石幢といわれています。

八角石幢は、現在京都山科の追分から、逢坂の関跡に向かって右側の月心寺という尼寺に納まっています。



控えめな灯籠が手水を見守る

今回は、世田谷の豊前屋庭石店さんがお手伝いに来てくれました。いつものように、講習に入る前に課題の内容を説明し、また内容とは別にいつものこの講習は二度と経験することはないだろうとの、一期一会の気持ちを持つて受けるよう話をしました。

その都度、一期一会の自覚を持っていない人は、庭守で学ぶ資質に欠けていると私は思っています。

通常の蹲踞は、時々施工したり見かけもしますが、降り蹲踞は、造つたり拝見することが少ない形式です。

京の町屋には、現在でも降り蹲踞がそこそこの数組まれているらしいのですが、個人のお宅では拝見することは難しいようです。

中京区蛸薬師の「河道屋」というそば屋、あるいは上京区千本のすっぽん「大市」、また下京区島原の「角屋」等の降り蹲踞は、運が良ければ拝見出来ます。

そもそも降り蹲踞の意匠の意図は、手水鉢を囲み石積みや石段、また懸崖的な植栽等の模様とされる為、景色が豊かになります。更に高低差をつけることによつて、京の町屋のような敷地の狭い庭に変化が生じます。

人によつては、つくばったときに気持ちが悪くなる、当然庭の排水効果もありません。

## 再び世に出た白川のボン

一斑の降り蹲踞は、多分江戸が明治時代のものであろうと思われる、灯籠の地輪を台石として、その上に水穴を彫りこんだ糊白(のりうす)を手水鉢として乗せました。

台石として用いた地輪は、以前京都の下京で町屋の庭を造作したときに、既に 3 石あった中のひとつで、施主の話ですと前の庭工事の際、地中より掘り出されたものとのこと。かなり地割れた年代物に見えますが、石質が白川のボンなので、時代を正確に読むことはできません。



道しるべによって蹲踞に奥行きがでる

が、現在では入手の難しい貴重な石です。地元滋賀県内は勿論、京都の主な有名寺院や町屋の庭で、堆積の層が美しく浮き出た守山石を良く見かけます。

11 月 28 日都筑 J A で、蹲踞講習最終として降り蹲踞の実技を行いました。



石段の先にある糊白の手水



カメラ目線も含めた一斑のメンバー



思い通りにならない石に苦戦する二班のメンバー



木曾の木板が手水へと誘う

糊臼の背後には、独特の形をした木曾石の鏡石を据え、海の深さは55cmとし回りは筑波の石で積み上げました。左右の役石や石段脇の土止め等は、大振りの筑波石でまとめました。手水鉢までは、筑波、丹波、木曾の厚みのある石を用いて、曲のある変化をつけた石段としました。

今回の鉢明かりは吊灯籠にしました。30年程前、京都北野天神の骨董市で買求めたものですが、古いものではありません。このよ

うな灯籠もあるという意味で用いました。降り躊躇という、滅多に経験できない仕事に皆さん戸惑いながらも、真剣に石と向かい合っていました。

### 主を失った蓮華座

二班の降り躊躇は、堂々とした鳥海山の手水鉢を用いて、豪快な鉢回りを組みました。手水鉢の水穴は、班長の川田さんご自分で水穴を彫ったとのこと。海は広くとり、その広さ

に合わせた大振りの木曾石で石段を決めました。

海回りの石積は鳥海山の石で積み上げました。やや大きめの石と小づめの石とのバランスが、上手にとれたと思います。筑波を用いて石積をした一斑同様鳥海山の石積に皆さん真剣な面持ちで、悪戦苦闘していました。鉢明かりは置灯籠としました。天下茶屋形を細身にして、前面の格子を十文字とした創作灯籠です。置き灯籠の

台石は、先代が入手したといわれている蓮華座ですが、無縫塔或いは仏舍利、または石仏地藏等の何が鎮座していたか定かではありません。主が何だったかは、蓮華座に彫られた受け花のみが知るのでしょうか。

今回の庭守活動報告は、平成23年1月の座学の内容や、2月の川合玉堂邸の池回りの護岸石積に関してお伝えします。

## 庭守に参加して

一造園土木棟  
松倉 仁

のつけから情けない話ですが、庭守りの翌朝は体がきつい、節々が痛い。飯どきに、箸が思うように運べない時もあります。こんなありさまは私だけかもしれません。

庭守は、第四日曜日、朝八時に集合します。私は年長です。同世代が四、五人いますが、あとはみな若い人達です。各自多くの事情もあるでしょうが月末の日曜日に横浜農協同組合植木セリ市場に集まります。

講師の方々も何日も前から用意したことだろう、手水鉢、投石、石材、吊り具、備品等々をクレーン車やトラック満載に荷造りして到着します。ここは「何か」がある。ただ、教える、教わるとい

う空間だけではない緊張感が、回数を重ねるたびに上がっていくのが分かります。それでも会長、荒川さん「厭なら来るな、休むならやめろ」と発破をかけられる。それも解ります。現場作業は集中と緊張が欠けると大ケガもある。勘もコツもつかめない。講師の渡部さんも、川田さんも公私に亘る都合をつけ、ここに来て

講師の方の総評を聞き、メモを取ったり写真を撮ったり。この時ばかりは、皆笑顔、いい顔しています。それも束の間、片付けです、やっとの思いで据えた石も、悩んで積んだ石も綺麗に土を落として、使った道具はたわしで洗い、平らに整地して、全てを元に戻して終わります。講師の方々にお礼を言い、共に汗をかいた仲間にお礼を言いつて帰ります。

振り返ると、今ここに在った、延段、躊躇、燈籠、築山、下草の景色は、幻の如しです。ここには「何か」がある。それは「本気」と「一期一会」の心なのかもしれません。

三年前の春携帯電話が鳴った。それは荒川さんからだ。それは「福田君と一緒に庭の勉強会を作ってもう一度学んでみないか」という内容でした。そのとき私は「やりたいです」と答えました。今までの様な勉強会の誘いが無かったので参加すること

を即決しました。最初の顔を合わせの時は、私を含め10人程の方々でその中で顔見知りの方は二、三人で、あとは初対面でした。どのような職人の集まりなのか不安と期待の両方が錯綜しました。最初の年は、私の会社の

旬福田園  
福田 範弘

三年前の春携帯電話が鳴った。それは荒川さんからだ。それは「福田君と一緒に庭の勉強会を作ってもう一度学んでみないか」という内容でした。

そのとき私は「やりたいです」と答えました。今までの様な勉強会の誘いが無かったので参加すること

を即決しました。最初の顔を合わせの時は、私を含め10人程の方々でその中で顔見知りの方は二、三人で、あとは初対面でした。

どのような職人の集まりなのか不安と期待の両方が錯綜しました。最初の年は、私の会社の

石井農園  
石井 新次

「終わりのない一生勉強の仕事です。」

庭守への参加申込から2年が過ぎようとしています。初めての顔合わせのときに

気がついたのは、若い方が大半で、自分ほどちらかといえれば指導される方々に年齢だけは近いことでした。

庭守への参加は、私に貴重な時間を与えてくれました。五十路を迎えた私にとつて、自分の子供たちに近い人たちと同じことをするのは、身体的に少々辛いものがありますが、職人としての自分をより高めていくために、これ以上の勉強会は探せないのではと感じ、なぜ最初の募集から参加しなかったのが悔やまれます。

# 100年前のワシントンの桜

## （明治45年横浜植木が輸送業務を手掛けた話）

横浜植木株式会社 造園部顧問 小泉 信二

今年もさくらの咲く季節となりました。ワシントンポトマック河畔の桜も日本と同じ3月下旬から4月上旬に咲きます。この頃になると日本から各種の観光ツアーが企画されています。皆様ご存知のことと思います。さて、横浜植木株式会社は明治24年に植物の輸出入業商社として起業し、今年6月に創業120周年を迎えます。この120年の歴史の中でこの桜の輸送業務を手がけたので関係記事を記してみます。

### ワシントンへ桜を送る経緯

ジャーナリスト、紀行作家、写真家であるエリザ・シドモア女史（1856～1928）が1884年、明治17年（28歳）来日。その後も何度か来日し通算して3年間ほど日本で暮らす。桜の美しさに感化、帰国後に1904年（明治37年）、チャールズ・マラーツト博士邸（昆虫学者）で桜が咲くことや、1906年にフェアチャイルド博士邸（植物学者）に25種類の桜（横浜植木扱い）が植えられたことを見てワシントンでも桜が育つことを確認。1909年（明治42



ワシントンのポトマック河畔の桜



ワシントンタイダルベイスン湖のサクラ

年)、ポトマック河畔に造成されたばかりの殺風景な新公園に桜を咲かせたいと時の大統領のタフト夫人に要請、(シドモア女史54歳) たちに日本の外務省から東京市に伝えられる一方、ニューヨーク在住の高峰讓吉博士(タカジラスターゼ発見者) から東京市長に意向が伝えられ、時の市長尾崎行雄は日米親善のため苗木寄贈を決議、吉野、都、紅普賢など10種類を千葉の苗木商から買入れ、1909年(明治42年)11月24日、日本郵船加賀丸に積み込み、43年1月6日(13日説もある)にワシントンに到着、検査の結果ネ

マトーダに侵され、コスカシバの幼虫発見、全部焼却処分されてしまった。再度輸出に挑む この予期せぬ惨事に高峰博士は病害虫に強い苗木を費用は自分が出すからもう一度送るよう、また、高峰は当時ニューヨーク在住日本人クラブ会長であり、ニューヨークにも送るよう尾崎行雄市長に要請した。市長はメンツにかけても成功させようと再度寄贈を決める。この時生産指導したのが農商務省農事試験場長古在幸直博士で先年千葉大学学長古在豊樹のおじいさんに当る人であった。農事試験場ではワシントン、

ニューヨーク用含め新規に無病虫害苗木を生産することとし、まず、台木生産を兵庫東野村(現伊丹市)に発注、15,000本の生産を開始、この台木は現在ではエドヒガンまたはオオシマザクラの種を播種し、1年で1m程度に成長するものを使用するが、当時は



ワシントン桜河畔の賑わい



ワシントンタイダルベイスン湖のサクラ

元気な桜の木の枝を切取り、挿し木を活着させ台木としたという。43年12月台木をガス燻蒸したのち静岡県興津園芸試験場に運び、穂木を荒川堤から採取、ソメイヨシノ、カンザンなど(桜の開花期日が長期になるよう)12種類の接木生産が44年2月から始められる。この穂木は荒川の五色桜で桜博士の三好学が推薦したものであった。45年2月には1m以上に成長した内から良いもの6尺程の苗木6,040本を選び、再び青酸ガス燻蒸したうえで出荷する。

樹木園や、39年ワシントンのフェアチャイルド博士邸へ送付した経験があるといえども慎重に行動したようである。桜苗木の根を洗いミズゴケでつつみ交互に束ね数十本単位にして、更に間をミズゴケで挟みこれを一束とし、綿布で包み木箱に入

れ荷とし、日本郵船阿波丸の喫水線以下の船底付近に積み込み(温度管理上の処置)、1912年(明治45年)2月14日シアトル向け横浜港から送り出す。約16日間でシアトル到着、シアトルから東海岸までの大陸横断は冷凍貨車(保冷車?)9両程度を使用、半分の3,020本は3月13日ワシントンに到着、残り3,020本(2,500本説もある)はニューヨーク用でいずれも検査し全部合格した。この送り出しや受け入れの業務を担当したのが当時の横浜植木で、弊社は当時ニューヨーク支店をマンハッタンのパークレー街31番地ワールワースビル内に持っていた。

タイダルベイスン湖やそれに続くポトマック河畔に集中的に植えられ、管理を国立公園管理局が担当し随時若木を植えるなど、更新作業を行い桜の名所として今日定着、毎年桜の女王を決める桜祭りを開催し、花見客誘致に努力している。100年前の桜は古木の木姿で何本か確認できる。また、由来のプレートも見られる。

横濱植木の関与 当時の二代目社長鈴木浜吉は穂木採取の荒川堤、江北村まで事前調査に出向いている。この輸送業務も弊社は明治45年を越えること9年前の明治36年、37年とハーバート大学アーノルド



さくらの更新(若木を植えている)



日曜日に桜祭をする会場

国駐日大使、シドモア女史(56歳)列席のもとで植樹祭が行われ、ギョイコウは全部ホワイトハウスに植えられたと言う。 ニューヨークでは1か月遅れの4月28日ハドソン河開発300年記念やグラント將軍の墓畔、セントラルパークに植えられた。

### その後の桜

#### ワシントン



### ●会員名簿の変更● (平成21年度名簿)

#### 住所変更

- 鶴見支部  
有鶴見緑化 (会員名簿P.26)  
〒224-0001 横浜市都筑区中川5-24-5  
Tel 045-911-3307 Fax 045-911-3307
- 瀬谷支部  
柏木造園 (会員名簿P.39)  
〒246-0032 横浜市瀬谷区南台2-4-1  
Tel 045-302-1155 Fax 045-303-1551

#### 代表者変更

- 港北支部  
株田丸園 (会員名簿P.27)  
代表者 田丸 武志 → 金子 竜二
- 相模原支部  
株大萩造園 (会員名簿P.71)  
代表者 萩原 正美 → 萩原 昌也

#### 電話番号変更

- 川崎北支部  
赤坂造園 (会員名簿P.36)  
Tel 045-951-1722

## 事務局情報

(月間行事一覧)  
●諸会議その他●

2/5 (土)	造園技能士コース (第14回)
2/6 (日)	旧川合玉堂別邸池泉石組改修整備講習会
2/12 (土)	造園技能士コース (第15回) 旧川合玉堂別邸池泉石組改修整備講習会
2/13 (日)	旧川合玉堂別邸池泉石組改修整備講習会
2/14 (月)	公園緑地部会経営研修委員会
2/19 (土)	造園技能士コース修了試験
2/20 (日)	石川龍二氏叙勲を祝う会 (小田原ホテルセンチュリー相模大野)
2/25 (金)	公園緑地部会
3/1 (火)	情報委員会
3/2 (水)	庭園部会 技能検定検定委員指導員合同会議
3/2・3・4 (水・木・金)	高所作業車運転技能講習会 (キャタピラー教習所相模教習センター)
3/3 (木)	県域青年部会
3/4 (金)	美術館・庭園めぐり研修会
3/5 (土)	造園技能士コース修了式
3/9 (水)	公園緑地部会総務委員会
3/10 (木)	新公益法人特別委員会正副委員長会
3/11 (金)	樹木・資材委員会
3/16 (水)	教育研修委員会
3/18 (金)	総務・厚生委員会
3/21 (月)	グリーンエンジョイin県立保土ヶ谷公園
3/25 (金)	公園緑地部会
3/26 (土)	作庭塾「庭守」
3/30 (水)	理事会

ニューヨークの桜  
ハドソン河畔やグラント將軍墓畔に植えられた桜はその後川沿いの道路建設や墓畔の改修で処分されるなど、更新作業も行われずだんだん小規模になりワシントンのような名所にはならなかった。現在ニューヨークの桜は八重桜が多く葉と花が同時に芽吹くためソメイヨシノほど華やかではない。ブルックリン植物園、ルーズベルト島、セントラルパーク貯水池東側、リバーサイドパークの一部、グラント將軍廟横の桜公園などで小規模に見られるが、いずれも戦後の桜でワシントンと比較すると見劣りがする。100年前の桜はセントラルパークとブルックリン植物園で何本か確認できる程度で非常に少ない。



グラント將軍廟隣接のサクラ公園



リバーサイドパークの新植した桜



ブルックリン植物園の八重桜並木



セントラルパークの桜

アメリカからの返礼  
1915年、(大正4年)桜の返礼としてハナミズキ苗(白花)40本送られ、東京都立園芸高等学校、東大小石川植物園、日比谷公園、百花園、農林省興津支場等16箇所に植えられる。2年後1917年にもピンク色苗木12本も贈られる。この年弊社もアメリカハナミズキの輸入開始。  
第二次世界大戦で双方の国で敵国の木として切られたり、切られそうになったりしたのは皆様ご存知のことと思います。

終わりに  
高峰讓吉の生涯を記している「松風殿」などでは、ワシントンの桜も彼の発案と寄付があつて実現したとし、また、ニューヨークの桜は2,100本であるとされている。  
送ったのはワシントンもニューヨークも東京市長尾崎行雄であるが、あくまでも高峰が主役の記述で「尾崎行雄を表に立てて」との表現になっている。  
一方、「米国ワシントンDCの桜物語」ではワシントンの立役者はシドモア女史で高峰はわき役である。本数はいずれも3,020本である。さてどちらが正解なのでしょうが。

参考文献  
上原啓二著 樹木大図説 II 2-9、米国ワシントンDCの桜物語、日米親善の架け橋、エリザシドモアとワシントンの桜、松風殿、尾崎行雄の生涯、日本郵船博物館、弊社100史、及び現地調査



チャペル / ルーム  
ヴァンセーヌ / 上海酒家



客室数50室/大小宴会場10  
中国料理 上海酒家  
レストラン ヴァンセーヌ  
ティーラウンジ

## ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地  
TEL 045-641-1311

湘南ホテルマネジメント株式会社  
グランドホテル湘南

### 病害虫防除 講習会を開催

協会と神奈川農農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で平成二十二年度第二回病害虫防除関係者講習会が一月二十八日「かながわ県民センター2階ホール」において実施され、総勢一七七名(造園業関係二八名・その他行政・団体八十九名)が参加し、二時間半に亘り行われました。

講習会は、「農薬の適正使用と安全管理」について農業技術センター病害虫防除部副技幹伊與部有一氏より、「人の健康や環境リスク低減に配慮した樹木の防除技術」について(独)緑の安全推進協会千野義彦氏より事例を示しながら講義された。

この講習会は、農薬散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注側の行政と受注する造園関係事業所が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で、講習終了後出席者に、「終了証」が手渡されました。

尚 当日発行された「終了証」は再発行されませんでした。



### 旧川合玉堂別邸 池泉護岸石組 講習会開催

横浜マイスター  
大胡 周一郎

旧川合玉堂別邸・二松庵に於いて、庭守の講習会が、荒川・川田渡部・石井各講師先生方の指導の下、二月六日(日)と十三日(日)の二日間行われました。

二松庵での講習会は、鉄砲垣、網代垣、竹穂垣建仁寺垣、土橋に続き六回目となります。

今回は垣根から離れて、池の護岸石積を行いました。

庭守では、今までに延段、蹲踞鉢前の石組等、石を使う勉強は何度もしてきました。しかし、今回は足元の悪い土堀の池の中での作業でもあり、苦戦いたしました。

池の常態は、手前半分は前石が据えられ護岸が整っていますが、対岸は長年手が入らず斜面の土がゾレ込



改修工事前



改修工事完成後



んで埋まりかけ、辛うじて仮設の乱杭を並べて土留めとしていました。それらを取り払い池底の泥を掘り上げ、湧き出す水を汲み上げ

つつ作業を進めました。周辺の景観や既存の石に馴染むよう、鳥海山石を使用し積みました。

汀線に変化がでるよう

に、また、様々な石積みを決まりごと等を考えて、講師の指導を受けながら苦闘の二日間でした。

過ぎる頃には、先々を考慮して作業を行い、見事完成に至り素晴らしい出来上がりでした。末永く二松庵の景色となることと思いを。

ご協力頂きました中山造園資材様、事務局長を始め神造協役員の皆様、何にもまして今回の講習会にご参加いただきました皆さまに感謝申し上げます。有難うございました。

### 技能士コース を終えて

平成二十二年度の「普通職業訓練技能士(1・2級)コース」が修了しました。

身につけ、一人でも多くの人に造園技能士の資格を取得し、造園業界の担い手を育てたいという熱い思いで、毎回この講習会に取り組んでいただいております。普段の現場では知ることのできない知識、同じように造園を志している人達と知り合うことのできる貴重な時間を過ごせたことは受講生にとっても大きな財産になることと思います。これを機会に、日々の仕事に励んでいただきたいと思います。

講習会は協会会議室で開催され、1級6名、2級3名が修了し、修了式が3月5日(土)に行われ、受講生9名に修了証が渡されました。

4ヶ月間、先生方の熱い講義を毎回、楽しく拝聴させていただきました。自分がいかに足りないか、これから1つ1つ、コツコツという思いになりました。頂いた講義を生かして、少しずつですが、更に進進し、一生をかけて造園の仕事、続けさせて頂きたいと思っております。

6名の講師の方々がお忙しい中、幅広い知識・技術を受講生に身につけてもらうために、造園の技術や芸術性の奥深さ、また、造園に対する姿勢・考え方を

1級受講生 渡邊 眞澄



終了式

このような機会を、頂きました事、感謝でいっぱい。各講師の先生方、お世話頂いた事務の方々、誠にありがとうございました。

### 支部だより

#### 横浜南支部新年会

情報委員  
岡本 勝正

平成二十三年一月二十一日、大寒も過ぎて寒さが例年にも増して厳しいなか、南区内の「三幸」で支部

員十六名とその家族八名の出席を得て新年会が催された。時刻を知らせる町子囃子のにぎやかな鳴り物で始まった。支部長の挨拶、乾杯に続いて獅子舞やひよっとこの手踊りも軽やかに、新春のめでたさを感じさせる宝船の掛け軸や凧も飾られた。



支部長挨拶

しばらく歓談の後、竜の鼓会のメンバーによる太鼓演奏、さらに支部員の参加によりカラオケと太鼓演奏に大いに盛り上がった。



町子囃子

渡邊理事の挨拶、岡本青年部長の中締め御開きとなった。支部長をはじめ幹事の方や青年部員による事前の準備、会場の飾りつけ、太鼓などの搬入などお骨折りを戴きました。この場を借りてお礼申し上げます。